



TOMAKOMAI

# みんなの広場



今月のひと

インタビュー

スタジオオラボ プラスアルファ  
studioLabo.+α 主宰  
すずき たつや

## 鈴木龍也さん(41)

魅力を伝え 演劇を身近に

### 刺激をもらった市民参加演劇祭

2018年秋、苫小牧市民文化祭において市民参加型の演劇「遭難」が上演されました。演出を手掛けたのが鈴木龍也さんです。それまで小劇場にこだわり活動を続けていた鈴木さんは、初の大ホールでの演出に戸惑いながらも、大きな刺激を受けました。劇場の大小に関わらず、演劇の魅力を確認しました。

### 演劇との出会い、劇団の旗揚げ

苫小牧出身の鈴木さんが、演劇に出会ったのは高校3年生の夏休み。演劇のワークショップに参加し、演じる楽しさに引き込まれました。仕事に就いた東京では、毎週劇場に足を運び演劇に夢中に。ほどなくして札幌に俳優養成所ができること聞き、プロの俳優を目指すため北海道へ戻ります。

その後、「自分の好きな芝居や環境を追求したい」と地元苫小牧で劇



団「演劇ユニット「labo」」を旗揚げ。2016年大町に客席50ほどの小劇場「studioLabo」を開設し支配人を務めます。劇場が取り壊されるまで、市内外の劇団公演の企画や演劇ワークショップ、稽古場として活用しました。

### もっと気軽に演劇を！

鈴木さんは小劇場の魅力を「客席との距離が近く、役者の表情息遣いまで感じる躍動感」、大きな会場は「お客さんの反応が、ホール独特の反響に包まれる感覚が面白い」と話しています。鈴木さんならではの答えです。今年11月に開催予定の市民演劇祭の演出も手掛け、稽古も順調に進んでいます。役者も演劇を楽しみたい市民も、気軽に参加できるよう鈴木さんの奮闘は続きます。



▲鈴木さんが演出する、今年の市民演劇祭の稽古風景

## とまこまい 検定



○に当てはまる言葉は？

11月12日～25日に市内○カ所でパープルライトアップを実施します

**応募方法** はがきに答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報とまこまいへのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。宛先 ▶ 〒053-8722 旭町4-5-6 秘書広報課 広報担当 締切は11月30日(火)(消印有効)まで。応募は1人1通まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

「広報とまこまい」限定

抽選で5人にエコバッグをプレゼント!



前月号の答えは ▶ ゼロカーボンシティ

### 市役所・出張所などの連絡先

- 市役所 〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 ☎0144(32)6111(代表)
- 勇払出張所 〒059-1372 苫小牧市字勇払33番地 ☎0144(56)0003
- のぞみ出張所 〒059-1272 苫小牧市のぞみ町1丁目2番5号 ☎0144(67)0464
- 沼ノ端出張所 〒059-1304 苫小牧市北栄町3丁目3番3号 ☎0144(55)0979

### 市政に関するご意見、ご提案などは

- 協働・男女平等参画室 ☎0144(32)6152 FAX 0144(34)7110  
メールアドレス kyodosankaku@city.tomakomai.hokkaido.jp

### HPの情報はここから

- 苫小牧市役所ホームページ  
<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>
- 携帯電話対応の情報提供サイト  
[https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/index\\_m.html](https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/index_m.html)

市役所HP  
アクセスは  
こちらから



広報とまこまいは、誰もが使いやすいように、ユニバーサルデザインに配慮した色やフォントを使用して作成しています。また、植物油インキを使用し、環境に配慮しています。